

季節のことは

さんまが美味しい秋である。脂の乗った秋刀魚を、モウモウと煙を立てながら焼いたのが美味。煙のでない魚焼き器なんてのもあるが、あれはいけません。煙がろくに出来ないとうまそうにみえないでしょ。落語の「目黒のさんま」でもわかるように、さんまは庶民的な魚なのである。

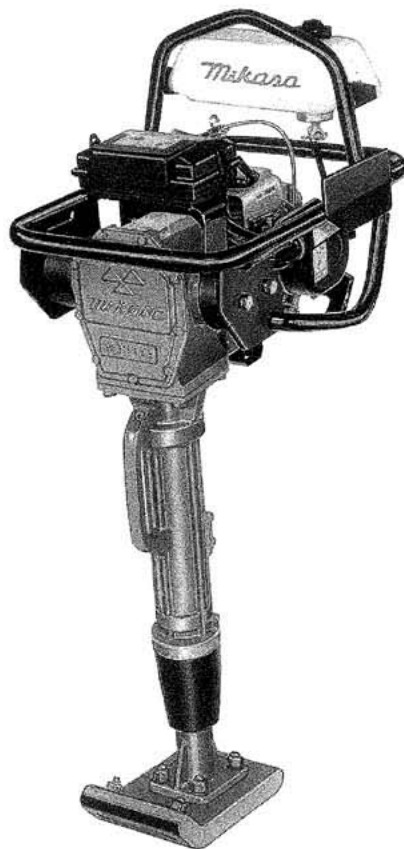
「秋刀魚が出る＝按摩が引っ込む」といわれるようにカルシウム、ビタミン等栄養豊富で、病気になる人が減る＝按摩いらすの季節が秋なのである。しつこいようだが、さんまは煙モウモウで食べましょう。「秋刀魚焼く煙の雨となりにけり」(万太郎)

●あなたと三笠をむすぶホット情報●

三笠NEWS

三笠ニュース

PR月報/年4回発行
発行所 三笠産業株式会社
郵便番号101 東京都千代田区猿樂町1-4-3
電話03(3292)1411大代表 ファックス03(3233)0530



MTR-35W



窓からの視
アイランド
キルケニー
古城
ほんの息抜きに聞いて、思いがけなく心地よい衝撃をうけたサウンド。それがエンヤとの出会いだった。彼女との出会いは遅かったと言わなければならない。あらためて帯コピーを読めると、「グレートブリテンのすべての国民が酔いしれています。この世のすべての悪魔を葬ってしまうエモーショナルチャーチミュージック。エンヤがデビュー！」と。88年12月といえば7年前のディスクである。遅かった出会いを取り戻すようにレコード店をあさって最新作まで3枚のオリジナル・アルバムが机上にある。

エンヤの曲を帯コピーのように「情緒的教会音楽」などと決め付けては彼女にとって心外もしくは苦笑ものだろう。繊細で優雅なハーモニーの彼方から伝わって心を揺り動かすのは太古からの水であり潮であり川であらうし、幻の民族といわれるケルトの伝統がただよ々と聞けば教会音楽を持ち出しても見当違いではないかも知れない。しかし透明で無垢な声と、立体的重層的な音の構成が醸し出す響きの不思議な魅力は、まさに現代の音楽が持つ多様性の現れであらう。

サウンドスケープという言葉がある。日本語なら「音風景」で、いま都市論や環境工学の分野で脚光を浴びつつあるようだ。エンヤの音楽をそこに整合するつもりはないが、大海原に注ぎこむ豊かな流れとか水平線とか荒涼にもかかわらず情あふれる大地の風景がエンヤ独特の感性音によって浮かび上がり、希望と不可思議な心の慰謝を受けることだけは誰も否定しないだろう。乗りかかった船である。これまで関心が薄かった未踏の国アイランド、幻のケルト民族をたずねて、書店やレコード店めぐりが続くことになりそうな今年の秋である。

管理設現場に見たMTR35 最小型機種種の活躍と効力

今や人口57万、神奈川県第3の政令指定都市を目指そうという勢いの相模原市で、三笠の新製品MTR-35が注目を集めている。

東京や横浜のベッドタウンとして、またその立地条件から大手企業の工場、研究所等が林立する相模原市は、市道の管理も非常に厳しく、上下水道工事での埋め戻しの際の貫入試験も当然の事ではあるが厳格に行われている。(貫入試験・まき厚30cm N値24) 三笠のランマーもMT-70シリーズが地元の業者の皆様によく採用していただいている事でもわかるように、輾圧機メーカーの間では輾圧力が強い最上位機種が多く使われている所として有名な地域でもある。三笠としても、MT-70シリーズを始め6タイプ12機種種のワイドバリエーションでそのニーズに応えるべく日々製品の向上PRにと奔走してきたが、工事の工程の中で強く要望があるにも拘わらず対応できない場面があった。それがいわゆる「管周辺の輾圧」である。開削幅650mmの中心に下水道管250mmを入れ、更に両脇に山留めの矢板を入れると輾圧出来る幅は160mm~180mm程しか残らず、しかもどうしてもそ

MTR-35W仕様

機体の寸法	全高 全幅 全長	1045mm 350mm 545mm
装 備 重 量		38kg
衝撃板の寸法	幅 長さ	150mm 270mm
衝撃板のストローク		40~55mm
打 撃 数		720~750(回/毎分)
打 撃 力		500~550(kg/毎回)
使用 エ ン ジ ン		ロビンEC08GH 3.3PS 2 サイクル

の底を輾圧しなければならない状況(貫入試験で管防護N値18回)があり、現場の方々も苦慮されていたようである。当然このような狭い場所では従来の最小型機種MT-50シリーズでも「まだ少し大きい」という意見が多かった。そこで現場の方々の熱い要望に応えて開発されたMTR-35の登場となった。

発売以来文字通り水を得た魚のように現場で活躍しているMTR-35に対するユーザーの方々の意見をまとめてみた。

- (1) 機体がスリム。中でも何よりハンドルがコンパクトなので前述した様な制約のある場所でも容易に作業ができる。
- (2) 重量が軽いので狭い場所で障害物

などがあっても1人で持ち上げ、移動できる。また軽い割に思ったより輾圧力がある。

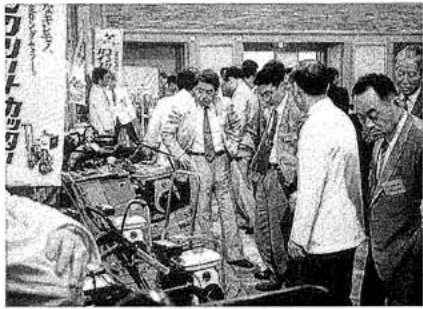
ちなみに相模原での現場テストにおいては、4回の輾圧回数で、管防護部規定貫入値をはるかにしのぐN値24以上という結果でした。

- (3) 従来よりのフロート式キャブレターと8月生産分から標準装備となった三笠独自の大型ダブルエアクリーナーとにより改良土(下水管理埋戻しはRC-10)等の細かい埃の出る現場でも他社同クラスランマーとは比較にならない程始動性がよい。など数々のお誉めの言葉を頂いた。なお、MTR-35での管周辺部の埋め戻し後は、バイプロコンパクターや従来のタンピングランマーを使う事により効率よく作業していただけると思います。

製品価格、アフターサービス等一貫してお客様のご要望にお応えできる製品と自負したうえで、多くの土木建設業の方々、レンタル業の方々に採用されており、これからの三笠ランマーの一翼を担う製品と我ながら頼もしく思うと同時にこれからも現場のニーズを

最優先としたMTR-35の様な製品を皆様にお届けできるよう一層努力していく次第です。

〈第3回〉東京・東北・北海道 三笠レンタル会合同総会開催



三笠産業のレンタル、リースのお客様を中心とした三笠レンタル会合同総会（会員数188社）が、9月12日(火)・13日(水)に、東洋一の高層ホテルとして知られている横浜MM21地区ランドマークタワー、ロイヤルホテルニッコーに於いて盛大に開催された。

この会も第1回目が平成元年に宮城県松島海岸で開催され、第2回目は平成4年に北海道登別温泉で開催、今回が3回目となった。

北海道三笠レンタル会の皆様は、総会前日(11日)に上京され、三笠産業館林工場を訪問し、新しい組立ラインを見学され、横浜ワシントンホテルで1泊された。

総会当日は、好天に恵まれ午後2時過ぎにホテルに集合され、総会に先立ち、第1部として三笠主力製品並びに新製品の発表会を行った。製品の中では、大型の高周波インバーターFV-6K・10K。更に改良を加えシリーズも充実したマイコンパイプレーター。コンパクトな機体で、溝の中や壁際等、狭い場所でも作業が容易に出来るMTR-35Wランマー。レバー1本の操作で、前後進及び速度調節が行えるMVR-65Wパイプロコンパクター。また6年前より発売し各ユーザー様より絶大なる評価を頂いているMVH-200、302前後進パイプロコンパクターでは更に充実し尚一層の重載圧を目指したMVH-402DS、502DS、また11月より生産が開始される駆動装置を油圧化したMRH-7Dローラー等多数の製品を技術研究所員より説明し紹介した。

第2部の合同総会では、冒頭東京三笠レンタル会会長（片岡建機リース(株)社長）原照雄様が挨拶され、3年ぶりの再会を祝し、会の発展を報告し、三笠産業の経営と商品に対する一途さ、それが今日の三笠とこの会員との繋がりで、更なる会の発展を祈念すると述べた。

続いて三笠産業より京谷社長が挨拶に立ち、景気は今だ足踏み状態と言われ、とりわけ今年に入り阪神大震災、急激な円高、金融不安等々世を取りまく不安定な要素が多い中、三笠は常に新技術の開発に挑み、ランマーはMT-50Vを中心に国内シェア50%を占め、ディーゼルランマー、ガソリンランマーを開発し、これらを今回試作機として発表することが出来ました。今後とも会員皆様と共存共栄を柱に、三笠として営業、サービス両面からの充実を



原会長

約束しお礼の言葉を述べた。

その後各会事務局から議事、報告と東京・東北・北海道3会の役員の紹介があり、最後に東京三笠レンタル

会副会長（宇建リース(株)社長）小野寺隆様の閉会の言葉で終了した。

第3部の懇親会はホテルの宴会場へと場所を移し、三笠産業京谷副社長より歓迎の言葉があり、東京三笠レンタル会理事（コーエイ(株)社長）高屋浩志様に開宴の言葉並びに乾杯の音頭をお願いし開宴となった。

宴会では各地区の会員の皆様が手を取り合い旧交を温め、歌手の歌も入り



バーマ'95 建設機械展示会見学の記

1995年4月2日、成田発のエアフランス機にてパリに向け約12時間の行程で出発。途中-67℃前後の寒気に覆われた氷と雪のシベリアの大平原上空を通過。快晴のためくっきりと見えた大地は道路、人家もなく、氷結された不毛の地の印象と広大さに驚かされるのみであった。

パリ・ドゴール空港到着後ホテルにて旅装を解き、代理店の方の案内でシャンゼリゼ大通りを散歩し、予約されたレストランに行った。8時の予定が1時間半も待たされてやっと席に着いた。エスカルゴ、キャビアに舌つづみをうちフランス料理を堪能した。11時頃に再び大通りを散歩したが、片側10mくらいの歩道の半分以上にテーブルが並べられて、12時過ぎでも順番待ちの列が並び、食事を楽しむ欧州の習慣に感心させられた。

翌朝凱旋門、ルーブル美術館、エッフェル塔を見学。午後ミュンヘンに向け出発。約2時間でホテルに到着、旅装を解いた。

夕食は総ガラス張りの豪華なホテルのレストランにて日本から来た他の方々



親睦の輪が盛り上がった。中締めは東京三笠レンタル会理事（水利工業(株)社長）矢崎照男様が行い、ホテル70階のレインボーの間での2次会へと移った。横浜の夜景が一望でき、その美しさは時間の過ぎるのを忘れる一時であった。

翌13日は、観光とゴルフに分かれ、観光組は外人墓地、中華街等を見学し、3,000トンのロイヤルウイングに乗船し、東京湾を遊覧しながら船上での食事を楽しんだ。

一方ゴルフ組は、磯子カンツリークラブでコンペを行い、優勝は北見市の(株)福地工業福地会長。準優勝は能代市の幸和リース(株)福田社長でした。

2日間中身の濃い合同総会が開催出来ました事は東京三笠レンタル会原会長を始め、東京・東北・北海道各地区の役員の方々のご指導、ご協力の賜と深く感謝するとともに厚くお礼申し上げます。

南関東課 森記



左から3人目が筆者

と共に三笠産業京谷副社長、社員の方々と共に美味しく頂いた。

翌朝6時朝食。質素な生活の一端が伺われて感心させられた。展示会会場迄の町並みは窓が綺麗に磨かれて、窓下は花で一杯に飾られて美しい。聞けば通る人達に楽しんで貰うような。考え方の違いをつくづく考えさせられた。

アウトバーン経由展示会場に到着。聞けば幕張の10倍位の広さだそうだが、尚狭くて次回は変更になるような。さすが世界最大の展示会だと思う。

朝から屋外展示場を2日、屋内展示場を2日。後は再度見たい要点を再度廻った。大型機械が多く、コンピュータ制御による自動化が進み省力化のアイデア製品も多く日進月歩の時代、もっと知識を吸収勉強すべきと思い大いに収穫があった。

夜5時に商店はクローズされ、開いているのは飲食店のみで、それもバーマ展関係の大型メーカー、商社で予約されていたが三笠産業の手配でホテル等でドイツ料理、中華料理を満喫した。やはり印象深いのはビアホールでの一



刻。400人位で一杯の店内は貴賤を問わず和気藹々のムード、隣は髭もじゃのでっぴり肥えた恐ろしそうな作業服の二人連れ。我々でも持つのに重い大ジョッキを片手に3個ずつ持ち配達する55歳くらいのおばさん。各種のワインナー、すり身のポテト、キャベツの酢漬け、恐る恐る食べていると隣の髭もじゃの人が手を伸ばしてきたのでぎょっとするとフォークとナイフを取り混ぜ合わせて掬い、口を開けさせて食べさせてくれた。日本では考えられない一コマであった。又チロリアン風の服装の5人グループの楽団で楽しく演奏していた時、酔っぱらいのおじいさんが出てきてタクトを振り始めた。すると客全員がテーブルを叩き大合唱となり異常な雰囲気であった。聞けば嘗てヒットラーがここで大演説をし、ナチス党が結成されたとか。あっと言う間に日が過ぎ、残念なことに観光が出来ず、ロマンチック街道の始点の歴史が込められている夢の旧市庁舎や、ドイツ博物館にて嘗て若き時代の憧れの的だったメッサシュメットや各種飛行機の歴史、又ベンツ、アウディ、オペル、ポルシェ、B.M.W.等の古き時代のクラシックカーから時の流れに移り変わる姿を楽しく見学した。

そしてミュンヘン発パリ経由で帰国した。帰宅して先ず寿司を食べた。日本の料理は美味しい。

今回の展示会見学で一番感じたことは、あれだけの大会場に世界各国メーカー、商社が出演している中に、三笠産業が単独で小間を持ち、更にディーラー、エージェント、ユーザーが久闊を叙し再会の喜びの握手をしているのを見て、長い歴史の重み、歴史と共に開拓の精神と努力の賜の大きさを本当に感銘させられた。今まで仕事熱心な親しみやすい、ユーザーに対するサービスの良い会社と思っていたが、欧州は勿論、アメリカ、中近東、ロシア、スペイン、イタリア、東南アジアと人脈の広さに唯々感嘆させられるのみ。三笠産業の先見性に伸びゆく会社の根源を見た思いである。今回の見学の最大の収穫であった。

最後に三笠産業京谷副社長、清水次長、田島係長、西牧係長、十九浦取締役管理部長並びに関係商社の皆様には大変お世話になり有意義な見学と楽しい滞在が出来たことを深く感謝し厚くお礼申し上げます。本当に有り難うございました。

サン・エンジニアリング株式会社
(横浜市)

代表取締役 吉田勝美

三笠建設機械KK (西部地区総発売元) 小野社長建設大臣表彰授章



建設省では去る7月10日、第47回国土建設週間に当たり建設事業関係功労者及び優良団体に対し建設大臣表彰が行われた。

その中で、弊社の西部地区総発売元である三笠建設機械株式会社の代表取締役社長小野芳廣氏がめでたく建設機械関係功労者として表彰を受けた。

小野社長は昭和33年に社団法人大阪建設機械器具協会に入会され、昭和49年4月に同協会の理事としてその要職に就かれて以来今日まで、協会の重要担当部門の企画総務部理事を初め、経営部理事・厚生部理事として広い視野に立って、積年の経験を生かされ建設機械器具業界の運営、育成のため「一意専心」情熱を注がれ、その卓越した識見、豊富な知識は協会役員間には勿論、会員の方々の信頼大なるものがあります。

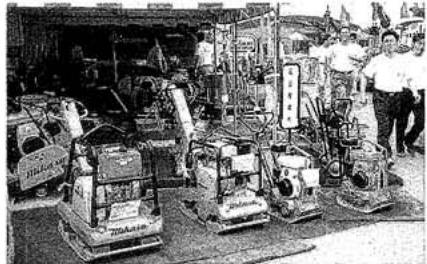
社業に於いても、昭和32年5月、三笠建設機械株式会社を設立され、以来今日まで38年余の間、製造元三笠産業株式会社の西部地区総発売元の他、建

設機械の製品取扱総合卸商として、西日本地区に拠点を設けその販路拡大は目をみはるものがあります。

今後共、小野芳廣社長様には、お元気に社業の益々のご隆盛と地域社会へのご奉仕として協会のご発展に更にご尽力下さいますようお願い申し上げます。

ご授章誠にありがとうございます。

水利工業株式会社 30周年記念と穂高営業所 新築落成記念展示会



長野県に於いて永年弊社の有力な代理店で、東京三笠レンタル会の役員の方の要職をお願いしている水利工業株式会社(代表取締役社長 矢崎照男殿、本社・松本市、支店営業所・松本、穂高、筑北、長野、更埴)さんでは、昭和40年のご創立以来、めでたく30周年を迎えられ、9月7日(木)、創立記念と穂高営業所の新築落成を記念して、安曇野スイス村サンモリッツにて、お取引先ユーザー、商社、メーカー様等多数御招待されて盛大に記念パーティーを開催された。矢崎社長の挨拶に続き、京谷社長が列席し心よりお祝いを申し上げます。

翌9月8日、9日と新築なった穂高



三笠のやわらちゃん…。そよ風の便りのように、そんな呼び名が耳をかすめた。聞き捨てにできない情報である。その人はどこにいるの？

館林・春日部両工場からほど近く位置する埼玉は白岡町。その技術研究所事務室に電話インタビューで初対面。昭和48年5月2日生まれという森田紀子さんだ。「はい、ジュドーではなくてカラテなんです」と明晰なお声から想像するに、丸顔でやや小柄で快活で、出るところは程よく出て格好いいヤング淑女。「はい。帯は今のところ茶帯です。」ギョッとしたがカラテ(唐手?空手)の場合は有段者が黒、その下に茶色、紫、緑、白と段位があると教えられてほっと安心した。

ピアノを習わせてほしいなあ…と小さな胸に抱いていた夢が両親の反対で押し潰され、三つちがいの兄が通っていたカラテ道場へ押し込まれ



た可哀そうな小学生。だがこれは両親の愛情と冷静な判断だった。小中高から短大まで継続は力となり根性となり、社会人になった今も「相手に向かって背すじをピンと伸ばし精神集中を高めるときの爽快感が大好きです」とおっしゃる。

気持ちの切り替えが早い。あこがれた四年制大学に失敗するや短大で手を打った。就職も人は羨む大企業に入社したが都心までの殺人的通勤ラッシュにびっくり、さっと身をかわし理想の土地・白岡三笠へ転職。

「趣味は外国映画の鑑賞です。ことはもっと本格的に英会話に挑戦したいと思います。それからセンス養成のために華道の稽古も欲張ってみようかしら……」明朗な声の向うに「やわらちゃん」姿勢の正しい構えポーズが見えるようでした。

営業所に於いて盛大に展示会を催され、オープン早々よりお取引先のユーザーさんが押しかけ賑やかな歌謡ショーあり、豪華な景品が当たるくじ引き大会など、祝賀ムード一杯の雰囲気の中多大なご成約を納めることが出来、我々

も大満足であった。

30年の歴史の重みを感じつつ、矢崎社長様初め社員の皆様のご活躍により更なるご発展を遂げられますようお願い致します。

長野営業所 菅原記



日記が語る50年前の夏秋 森田草平(岐阜出身)

1881~1949

『戦後50年』そして秋。静かな読書のシーズンにあわせて今回はある文学者の日記をひもといてみました。

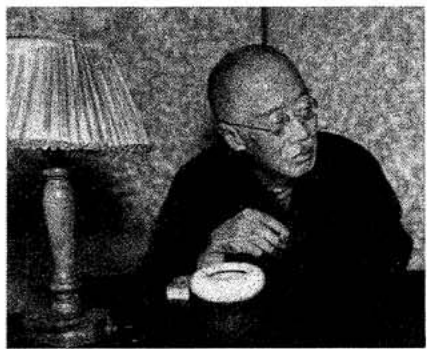
作家森田草平という人はおよそ次のような人物です。明治14年岐阜市に生まれ昭和24年長野県飯田市近在にて死去。東大出身。夏目漱石に師事し「門下十傑」の1人と謂われる。

デビュー作『煤煙』は平塚らいてうとの恋愛と心中未遂事件を告白小説にした作品で大好評を博した。またイブセン、ゴーゴリなど多くの翻訳で知られる。法政大学教授をつとめ、戦後日本共産党に入党(昭和23年)して話題になった。最晩年の作品には『細川が

ラシャ夫人』がある。

「世の中には、言うことがなくて文章を書いている奴がいくらでもいる。なかには言うことがなくて小説を書いている奴がいる。私は老齢の今日までとにかく言うことはある。言うことがあるからやむなく書いている。一種の反逆精神だ。この反逆精神が私の一生を貫いている……」

これは森田草平が亡くなる年の春、過去をふりかえって語った言葉。そして『笑われるとも、笑う人になるな』と戒めを残している。昔まだ無名の青年だった彼は、夏目漱石から「森田の批評にはとにかく言うことがあるから



感心だ」と褒められた。小馬鹿にした褒め方だと当時は不愉快だったが、今になって思えば漱石先生から名誉あるお墨付きを貰ったようなものだと思回しているのだった。

言いたいことを歯に衣着せず文章に

書く。公私へだてずに書いた。戦争中でも警視總監、厚生省事務次官その他にあてて綿々と陳情書を書き送っている。ほんの小さな不公平にも言いたい事は主張し表現した。友人や仲間にも自分の意見は明白に述べたから、時には衝突して絶交に至ることもあった。戦後まもないころ岩波書店と夏目漱石の遺族のあいだにトラブルがあったとき、安部能成と森田がやりあった紙上討論もケンカ別れに終わっている。

生まれたままの素裸で行年69歳を歩いたと言われるひと森田草平の終戦日記をチラリ拝見する。

8月15日(水) 晴

日記をつけた後、原稿に取りつく。正午までに1196枚まで書く。節男の支度で二人だけで午飯を食う。

おつね(注・草平夫人)新道へ味噌醤油2カ月分貰いに行っていたが1時近く汗みずくで帰宅。増泉寺へ立寄って団扇2本を返してもらい鍋は味噌屋に預けて帰ったと。なおこの正午重大放送あり皆聞けという布令が出て、天皇陛下みずからの放送があったが、聞いた人もよく分からなかったと。

節男はただちにTさんへラジオを聞きに行く。帰っていわく「矢張り無条件降伏であった」と。これでもう飛行機の心配はない。飯田の疎開もお仕舞

いになった。堯丸の命も助かった。しかし中支で強制労働でもさせられたら何年後に帰られるか分らない。

午後3時の放送を節男が聞いている。政府はすでに去る8日から会議を開き御前会議、枢密院会議等、会議の閉じ詰めであったと。即ちソ連が戦端を開いた後直ちに降伏の準備をしていたのである。阿南陸相は昨夜自刃したと。馬鹿は馬鹿の道を辿って、しかし矛盾はない。

何だか馬鹿になったようだ。しかし周囲の百姓は今度の戦争によるも降伏によるも何らの覚醒もなければ全く無関心である。

俺は今日まで政府と軍部を攻撃してばかりいた。今日からもう相手がなくなった。他人のことではない。俺自身の問題である。俺たちが降伏したのである。昨日までは他人が戦争をしていた。今日からは俺が平和の戦争をしなければならない。張り合いがある。

夕方東方に虹立つ。しかも二つ立った。自然は美しい。自然は日本の国情に無関心である。放心したようになって、酒が飲みたいが酒はない。本堂の南縁へ出て月を見る。七日ばかりの片破れ月だ。そのうち節男も来、おつねも来て月を見る。おつねは疲れてクラクラと座眠りをしている。

檜崎リース株式会社 札幌支店移転新築落成



(上) 札幌支店新社屋

(左下) 北守社長 (右下) 伊藤支店長



北海道地区の有力なレンタル店であり、北守社長には北海道三笠レンタル会の2代目の会長として大変お世話になっております。檜崎リース株式会社様に於かれましては、さる8月8日に、かねてよりの新築中の札幌支店が落成し移転され、また本社も9月18日にJR札幌駅より徒歩約1分の札幌センタービル3Fに移られました。

札幌支店は従来本社内に同居しておりましたが、事業の拡大により手狭になったため、札幌市のベッドタウンとして近年発展の著しい隣接の江別市に新築移転したものであります。

新社屋は国道275号線に面し、2,400坪の敷地に冷暖房完備の60坪の事務所と150坪の工場があります。北海道の動脈とも言われる国道12号線からも車で5分程でお客様にとっても非常に便利な、立地条件に恵まれた場所に位置しております。

同社は設立15周年というキャリアのある会社であり、道内に17ヵ所(支店3ヵ所、営業所11ヵ所、機械センター3ヵ所)のネットワークを持ち、設立

当初より三笠製品を多数レンタル機としてご採用いただいております。

レンタル機としては三笠のランマー、プレート、軽便パイプレーターはもとより、パワーショベルから電動工具まで幅広く保有している他、水処理装置などの特殊な機械もレンタルしており、専門知識をお持ちのスタッフも多数いらっしゃいます。また、新たに特機部トンネル課が新設され、ユーザーさんのニーズには何でも応えていこうという方針がうかがわれます。

伊藤支店長はじめ若々しいスタッフも全員張り切って仕事に取り組まれております。今後益々のご発展を心よりお祈りいたします。

新住所

【本社】 〒060

札幌市中央区北5条6丁目2番地2

札幌センタービル3F

電話 011-232-3305

FAX 011-232-3324

【札幌支店】 〒067

江別市工業町27番地5

電話 011-382-4070

FAX 011-382-4079

札幌営業所 向成記

ユアサ商事(株)盛大に 関東グランドフェア



毎年恒例であります、やまづみ会主催、炭協会協賛、ユアサ商事(株)後援の「産業と暮らしの関東グランドフェア'95」が7月7日、8日の両日、晴海の東京国際見本市会場で「時代を超える選択」をメインテーマとし、サブテーマでは

「いまこそ原点への回帰、知恵と行動の時」と、きわめて現実を見すえたテーマのもと出展メーカー454社、主催店122社が参加され盛大に開催されました。

建設機械関係での来客数は動員目標の3,000名を上回り、各出展メーカーも昨年を超える76社が自慢の新型機を展示しました。

関東グランドフェアは一部九県を対象とした最大規模のイベントであり、ユアサ商事さんの総力を結集した営業活動で我々にも熱い意気込みが伝わっ

株式会社ワキタ 中四国地区'95合同建機展

去る9月9日(土)・10日(日)に香川県坂出市番の州の瀬戸大橋博覧会場跡地に於いて「'95合同建機展」が(株)ワキタ他84社のメーカー各社の参加を得て開催されました。

開会に先立ち特設テント内で開会セレモニーが、(株)ワキタ広島支店佐藤課長代理の司会進行により行われた。

(株)ワキタ砥石常務が挨拶に立ち、今年は1月の阪神・淡路大震災に始まり、オウム真理教をめぐる恐ろしい疑惑の数々、そして泥沼の円高、株価の低迷等々、日本の経済、社会、政治情勢は全く混沌とした状況下、暗い話ばかりでした。しかし、建設業界は不況対策により世間一般の業界に比較しますとまだまだ救われる点がございます。最近の公定歩合の引下げにより、円安に向かう兆しも見えて参りました。これからは業界だけでなく不景気の底を脱した動きも見えて参る事と存じます。これからの需要を見据えて全国各地で合同建機展を企画しております。この中四国地区におきます合同建機展が先ずは成功致します様ご参加下さいましたメーカー各社皆様のご協力をお願い致しますと述べられ、引き続きテー

てくる展示会であります。おかげ様で三笠産業も数多くの契約もいただき今後の営業活動のはずみとなりました。

なお、ユアサ商事(株)様では7月末に仙台にて、9月には大阪、名古屋、香川、福岡と全国規模でグランドフェアを開催されました。

ユアサ商事(株)様のご尽力に感謝申し上げますと共に、益々のご発展をお祈り致します。

東京一課 神田記



ブカットが行われました。

三笠製品のコーナーではマイコンパイプレーターを始め、従来より小型軽量のタンピングランマー「MTR-35型」、小型軽量でモダンなデザインの前後進パイプロコンパクター「MVR-65W型」、国産唯一の重載圧用大型前後進油圧パイプロコンパクター「MVH-302DSA型」、生産量が世界で1、2を誇るタンピングランマーのメーカーとして安全性、耐久性・操作性の良さを含め、よりメンテナンスフリーを目指したダブルクリーナー搭載の「W型ランマー」、ヨーロッパの安全規格にも適合した全閉ベルトカバー採用の「MVC-60CE型」等話題豊富な機種がご来場者の目を引き、開催1日目にして目標をクリアすることが出来ました。この'95合同展示会は、9月15日(金)和歌山、10月4日(木)・5日(金)岩手県でそれぞれ開催され、引き続き10月14日(土)・15日(日)長野県で開催が予定されています。

西販課 川島記

三笠クイズ VOL.19

【問題】 タテとヨコのかぎを解いて1～5の文字をつなげると、秋にちなんだ言葉が浮かんできます。さて何でしょう。

ヒント

ヨコのかぎ

ア、○○○○○隣は何をする人ぞ。
イ、衣服の着こなし。○○○掛けは和服などを掛けてつるす道具。
ウ、前髪を改め心をいれかえること。○○○○○の情。
エ、三笠の前後進コンパクターの起振体は○○○偏心振り子を使っています。
オ、物事の最後の段取り。あいつは○○が甘い。

A	ア		B	4	C	D
1			3	エ		
	イ	2				
					オ	
	ウ	5				

タテのかぎ

A、タバコの好きな人のこと。
B、単身○○○。
C、○○とけんかは江戸の花。
D、これから美しく咲く鉢植えの花。「○○○○○のかほり」は以前のレコード大賞受賞曲。
E、そんなこととは○○知らず。

応募方法 官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業(会社名)をお書きのうえご応募ください。正解者には抽選の上10名様に記念品を差し上げます。

●あて先 101東京都千代田区猿樂町1-4-3

三笠産業株式会社

「三笠ニュース」編集室

●締切り 1995年11月13日(月) 消印有効

VOL.18の答えは「スイカワリ」でした。次の10名様に図書券をお送りしました。

本多幸子様(館山市) 保坂吉正様(佐久市) 浜田勝利様(静岡市)
大竹文乃様(千代田区) 太田憲秀様(豊川市) 村上明子様(西宮市)
村上正和様(高崎市) 石田浩様(湯沢市) 小角幸生様(広島市)
伊原吉孝様(堺市)

氏名 鎌倉 精二

生年月日 昭和41年9月28日

出身地 東京都

所属 第一営業部東北一課

家族 独身



Q.1—日頃どんな仕事をしていますか?

今年の5月まで海外営業部で輸出業務を担当していましたが、6月の異動で東北一課に配属になり仙台営業所にやって来ました。山形県の担当となり、現在のところはまだ、引き継ぎ業務として各ディーラーさんへの挨拶まわりを行っています。

Q.2—いま最も関心を持っていることはなんですか?

いろいろと関心を持っていますが、今はとにかく親元を離れての初めての一人暮らしなので、生活基盤を整えるのに大わらわの毎日です。それでも最近になってようやく家財道具が揃ってきて、人間らしい生活が始まりつつあります。あとはお嫁さんを見つければ完璧なのですが……。

Q.3—お客様に一言どうぞ

とにかくまだ前任者から引き継いだばかりなので、顔と名前を売るのに精一杯ですが、辛い珍しい名字なので難しいけど印象に残るかと思えます。新しい担当者として、前任者が築いて来た三笠産業の信頼と実績をより一層上回ることが出来るよう頑張りますので、お手柔らかにお願い致します。

我・ら・三・笠・産・業・の・宝・庫



氏名 斉藤 一哉

生年月日 昭和43年1月21日

出身地 北海道

所属 営業サービス部
部品課

家族 独身

Q.1—日頃どんな仕事をしていますか?

三笠製品全般の部品の注文を電話やFAXで受け全国へ供給する業務及びそれらの部品、主に富士重工工業部品の仕入れ業務また在庫部品の整理なども春日部の部品サービスセンターで行っています。

Q.2—いま最も関心を持っていることはなんですか?

2年ほど前から社内の野球チームに入り、土、日曜になると春日部市内で練習に励んでいます。ふだん事務所内にいることが多く、運動不足になりがちなのでその解消のためにもいい汗をかくようにしていますが、練習後にみんなで飲むビールがまた格別に美味しく飲み過ぎてしまつて逆効果になってしまつてしまうようです。

まだチームづくりを始めたばかりで試合数も少ないですが、お客様のチームと練習試合などしたいと思っています。

Q.3—読者の皆様一言どうぞ

入社して6年がたち、部品課も3年になりますが、まだまだ勉強不足でお客様に教えていただくことも多く、ご迷惑をお掛けしていると思います。お客様と直接顔を合わせることの少ない職場ですので、なおさら失敗のないよう一生懸命頑張りますのでどうぞ宜しくお願い致します。